

子ども発達総合演習Ⅱ

1. 担当教員

名前: 牛渡 淳(うしわた じゅん)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

本演習は、卒論の作成を視野に入れながら、各学生が自分の関心のある研究テーマを深めていくことを目的とする。

(2) 到達目標

- ① 教育や児童文化に関して、広い視野を得ること。
- ② 教育や児童文化に関して、各自が何等かのテーマに関して、深い理解を得ること。
- ③ 本や資料を読み、それをまとめる力、資料を作成する力をつけること。
- ④ 教育や児童文化に関して、発表する力、議論する力をつけること。

(3) ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、人間発達学科のディプロマ・ポリシー「子どもの発達についての知識と支援の技術を有している」に基づき、特に、教育や児童文化に関する知識の獲得をめざす科目である。

3. 授業の概要

将来、教師や保育士をめざす学生のみなさんの専門性の背景となる様々な知識や問題について、一緒に学び考える場とする。現代の教育問題や教育思想、絵本、児童文学、遊び等、学生のみなさんが関心を持つテーマに関して、毎回、二人ずつ、それにかかわる本や論文、資料を紹介してもらおう。報告後、質問や意見を述べ合いながら、さらに理解を深めていく。自分の発表だけではなく、他の人の発表を聴くことで、視野を深めることができる。本演習でのレジュメの作成・報告を通して、最終的に、各自の卒論の完成につなげていく。

4. 授業計画

回	月日	テーマ・内容	予習・復習	備考
1		オリエンテーション 各自の関心テーマについての話し合い。次回以降の発表の順序とテーマについて。		
2		牛渡による本の紹介		
3		学生による発表		
4		学生による発表		
5		学生による発表		
6		学生による発表		
7		学生による発表		
8		学生による発表		
9		学生による発表		
10		学生による発表		
11		学生による発表		
12		学生による発表		
13		学生による発表		

14	学生による発表
15	学生による発表

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法

- (1) 発表内容(90%)…
- (2) 受講態度(30%)…発言内容、出席

6. 履修上の注意